

科目区分	専門分野	科目名	地域・在宅看護援助論 Ⅲ（状態別看護）	対象学生	第 3 学年
		単位数（時間数）	1 単位（15 時間）	学 期	第 1 学期
担当講師	院外講師				
科目目標	1. 在宅療養者の病期に応じた看護を理解する。 2. 在宅療養者と家族に対し健康維持、QOL 向上を目指した看護を理解する。				
授業計画	第 1 回 1. 急性期にある在宅療養者の看護（講義・演習） 緊急性と重症度のアセスメント、状態に合わせた対応・看護 急性症状への対応、感染症（インフルエンザ、COVID-19 等）への対応 第 2 回 2. 慢性期にある在宅療養者の看護（講義・演習） 慢性期の特徴を踏まえた状態のアセスメント、状態に合わせた対応・調整 急性増悪の早期発見と対応、社会資源の活用・調整 合併症の予防と対処、活用できる社会資源 第 3 回 3. 回復期（リハビリテーション期）にある在宅療養者の看護（講義・演習） 在宅におけるリハビリテーション 生活機能・日常生活動作(ADL) 手段的日常生活動作(IADL) のアセスメント 状態に合わせた対応・調整、合併症の予防と対応 居住環境のアセスメントと対応・調整、社会資源の活用・調整 第 4 回 4. 終末期(看取り期)にある在宅療養者の看護（講義・演習） 症状マネジメント、終末期緩和ケアの実際、看取りの援助 家族へのグリーフケアカテゴリーの種類と適応 第 5 回 5. 小児の在宅療養者への看護（講義・演習） 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理 療養者の自立支援と QOL の維持・向上のための在宅療養支援 第 6 回 6. 生活の自立を目指す精神障害者への看護（講義・演習） 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理 療養者の自立支援と QOL の維持・向上のための在宅療養支援 在宅療養継続のための家族支援 第 7 回 7. 難病がある在宅療養者への看護（講義・演習） 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理 療養者の自立支援と QOL の維持・向上のための在宅療養支援 在宅療養継続のための家族支援 第 8 回 終了試験				
評価方法	筆記試験、課題レポート				
テキスト	地域・在宅看護の基盤 1、地域・在宅看護の展開 2 医学書院				
講師からのメッセージ	人間と社会、基礎看護学、地域・在宅看護論、疾病・治療論の既習科目を復習して授業に臨む。在宅療養者とその家族の状況がイメージできるよう視聴覚教材を用い、講義・演習を組み合わせ学習する。療養者と家族の QOL を考慮した状態に応じた看護ができるよう学習を深めていく。国家試験出題基準を確認し学習すること。				